

自動車リサイクルの旅、ゴール!

自動車リサイクル制度は、多くの人に支えられて成り立っているんだね! このシリーズで初めて知ったことや、面白いと思ったことは、ぜひ周りの人にも伝えてほしいな!

地球のために! 未来のために!

クルマのリサイクル

vol.7
まとめ編

クルマの99%※を再利用

ステップ6 地球に優しいクルマ作り

自動車をつくるためには、たくさんの資源が必要だ。だから、自動車メーカーが新しい自動車を開発・設計する際には、リサイクルのしやすさも考えているんだよ。特定の部品を取り外しやすくなる「リサイクルしやすい」プラステックを積極的に使うなど、いろんな工夫が施されているんだ。

作るときからリサイクルしやすく!



持続可能なクルマ社会のために

「自動車はどうやってリサイクルされているの?」という疑問を解決するために、さまざまなリサイクルの現場を訪ねる「クルマのリサイクル」シリーズ。今回を含め7回にわたってお送りしてきたけれど、ついに最終回!クルマが作られてから、大切に使用されて、資源に戻るまでの過程を見てきたけれど、みんな覚えているかな?今回は総集編として、学んできたことを振り返ってみよう。

金属類は原材料にもどしてさまざまな製品に使われます。残ったシュレッダーダスト(プラスチックやゴムなど)は、ユーザーが支払ったリサイクル料金を使ってさらに原材料にもどしたり、熱源として再利用されます。

残った車体などはシュレッダー機で破碎します。

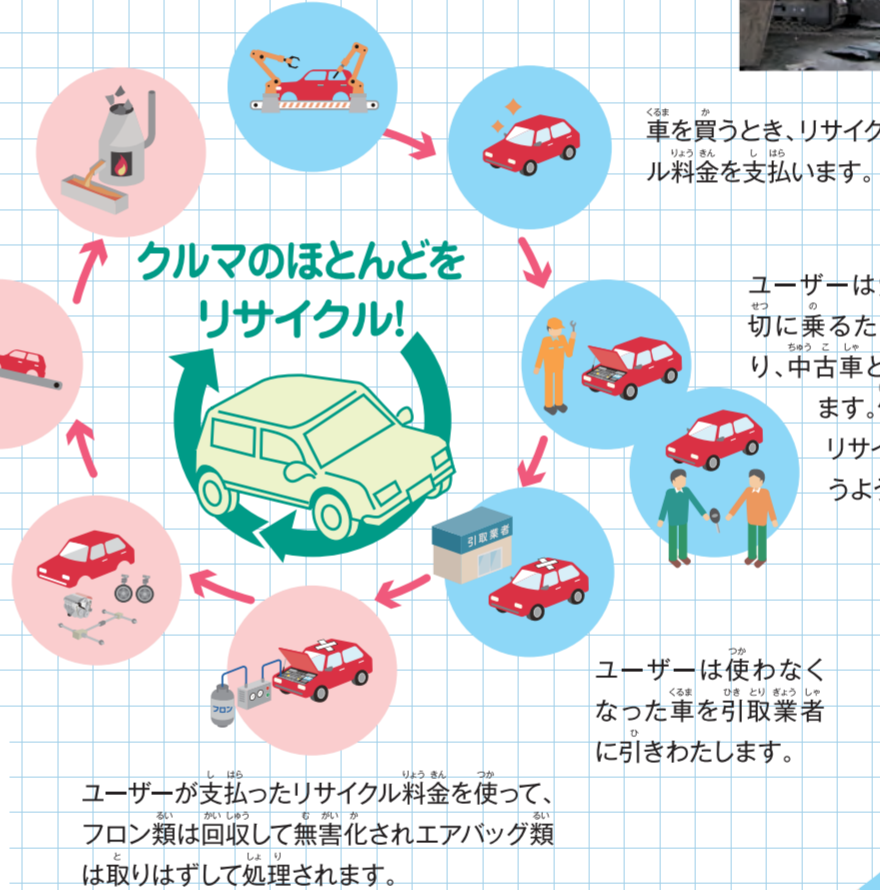
まだ使える部品は、取りはずして中古部品として流通されます。

環境に優しいリサイクルの輪!一緒に復習してみよう!



クルマのリサイクルの流れ

天然資源の使用を少なくしたり、リサイクルのしやすさを意識した車がつくられています。



ユーザーが支払ったリサイクル料金を使って、フロント類は回収して無害化されエアバッグ類は取りはずして処理されます。

ユーザーは使わなくなった車を引取業者に引きわたします。

ユーザーは愛車を長く大切に育てるために整備したり、中古車として乗り継ぎます。修理のときは、リサイクル部品を使うようにします。

ユーザーは使わなくなった車を引取業者に引きわたします。

自動車リサイクルの旅、スタート!

大切に使用された自動車でも、いつか乗れなくなる日が来るんだね。お疲れさま!

ステップ1 使える部品を再利用!

解体工場では解体作業中の事故を防止したり、環境汚染を防止するために「燃料ガス」「エアバッグ」の適正処理などの「事前処理」を行っているよ。その後、クルマの各部品の状態を確認し、まだ使える部品を取り外して清掃する。そして、交換用

作業者の安全確保と環境保全が大切



部品として販売されている。このような部品をリサイクル部品というんだってね。残った車体は運搬しやすいように重機で四角いサイコロのような形に圧縮し、次の「破碎工場」へと運ばれていく。また、今回訪れた解体工場では、クルマのバンパーや内装に使われているプラスチックを再利用するために細かく砕く機械も活躍していたよ。

ステップ2 資源を無駄なく回収!

破碎工場では、クルマの車体を細かく砕いて、さまざまな資源を素材ごとに分別・回収しているよ。鉄鋼・アルミニウムなど、いろいろな素材からできているクルマを、元の資源に戻すために、まずは巨大なシュレッダーで車体を砕いてくよ。細かい砕かれた資源

ここがシュレッダーの入り口!



石や風、ふるいにかけられる機械を使って選別されていく。ほとんど機械によって自動で選別されるけど、最後は人の目で選別しているんだ。また、金属資源を分別回収した後に残るゴムやプラスチックなどのシュレッダーダストからも、さらに細かい資源を回収したり、最終は燃料等のエネルギーとして活用されているよ。



資源を有効活用する循環型社会を目指して!



ステップ5 クルマのリユースを促進!

乗らなくなったクルマでも、誰かに使ってもらえば、資源の有効活用につながる!オークションはクルマの再利用(リユース)を促進する重要な役割を担っているんだ。



公正な取引だから買い手も売り手も安心

オークション会場は、出品されたクルマをチェックし、品質の評価点を付けている。第三者の目で品質をチェックすることで、粗悪なクルマが流通しないようになっているんだね。

また、整備工場ではクルマを修理する際には、リサイクル部品が用いられることもある。環境に配慮している上に、新品と比べて価格が安いのがいいところ!

ステップ4 大切な自動車をずっと安全に

長く安全に乗るためにメンテナンスは必須

資源には限りがあるもので、いま使っているものを長く大切に使うことは大事だよ!クルマを安全に乗り続けるためには、整備工場での定期点検や整備を受ける必要があるんだ。自動車整備士さんは、クルマを丁寧に整備・点検したり、おすすめのメンテナンスの方法を教えてくださいたいよ。



ステップ3 自動車販売ユーザーにとって頼れる存在!

購入から廃車までクルマの「一生」をサポート

クルマのユーザーはクルマを購入する時、「フロントガラス」「エアバッグ」「シュレッダーダスト」の適正な処理に使われる「リサイクル料金」を支払うよ。自動車販売店では、このリサイクル料金を受け取るだけでなく、ユーザーとリサイクルをつなぐ窓口を担っているんだ。また、自動車販売店では、クルマの点検や整備も受けられるよ。技術と知識を持ったメカニックさんが、大切なクルマをメンテナンスしてくれる

んだ。また、自動車販売店では、地域や社会との調和を大切に、つつづつ電気、水、紙の使用量を減らすなど、環境に配慮した活動に積極的に取り組んでいるんだって。



第6回 クルマのリサイクル作品コンクール 標語・ポスター大募集!!

「クルマのリサイクル」について学んだことを標語・ポスターとして応募してみよう!!

公益財団法人自動車リサイクル促進センター Japan Automobile Recycling Promotion Center / JARC

詳しくはこちらから クルマのリサイクル 検索